

三陸復興国立公園 戸倉園地

決定

区域面積：0.4ha
執行予定：環境省

第3種特別地域(町有地、民有地 ※環境省が取得する方針)



- ✓ 志津川 I C から10 km
- ✓ 神割崎集団施設地区に近接



竹島・椿島



アマモ場

- 戸倉半島北部、志津川湾沿いに位置する被災低平地
- 沿岸には、アラメ、コンブ、スガモ、アマモなど様々な藻場が分布する
- 海を中心とした自然体験活動を推進

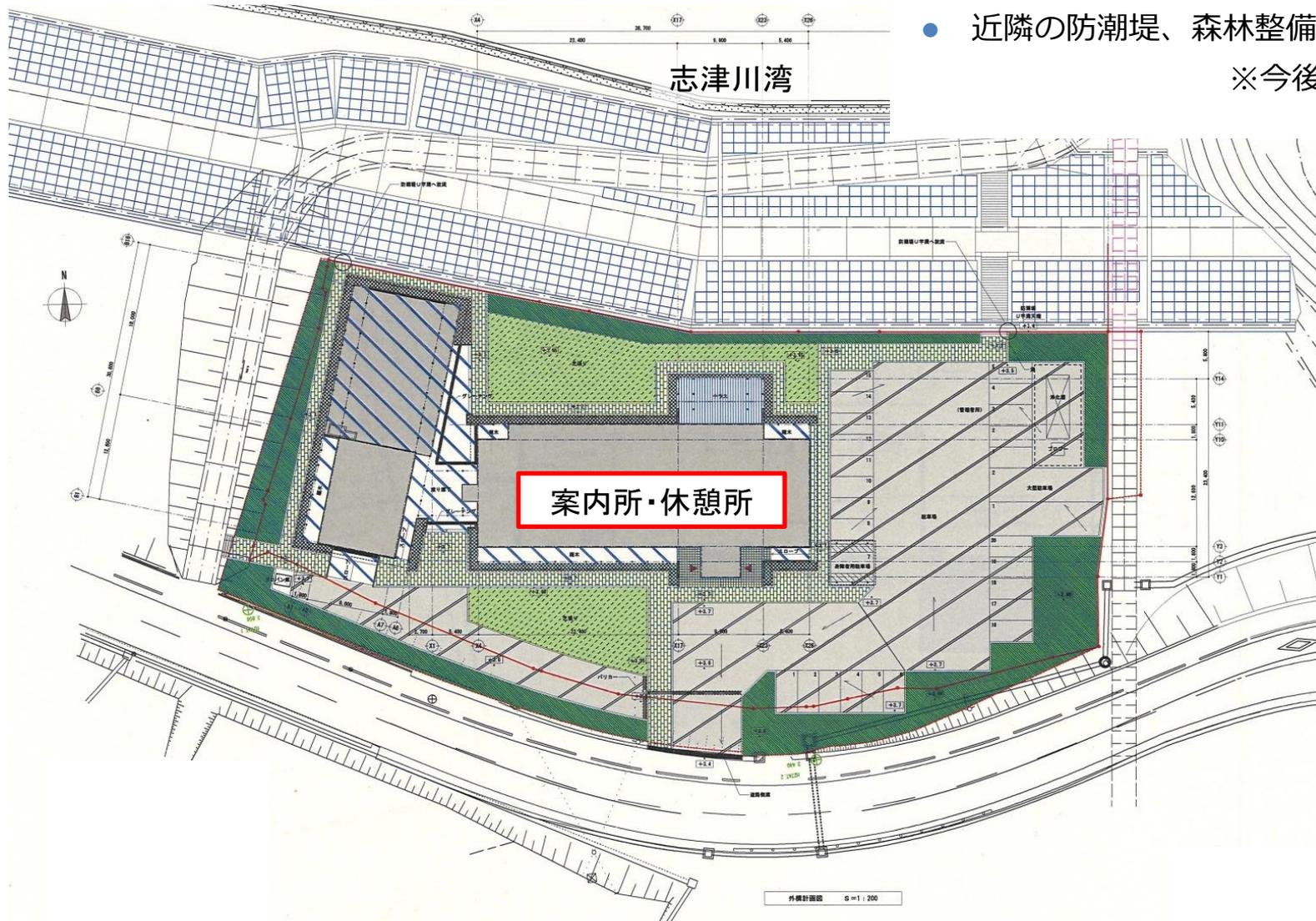
園地の整備（案内所、休憩所等）

区域面積：約4,000m²

執行予定：環境省

- 案内所・休憩所：約1,000m²
- 近隣の防潮堤、森林整備等との調整済

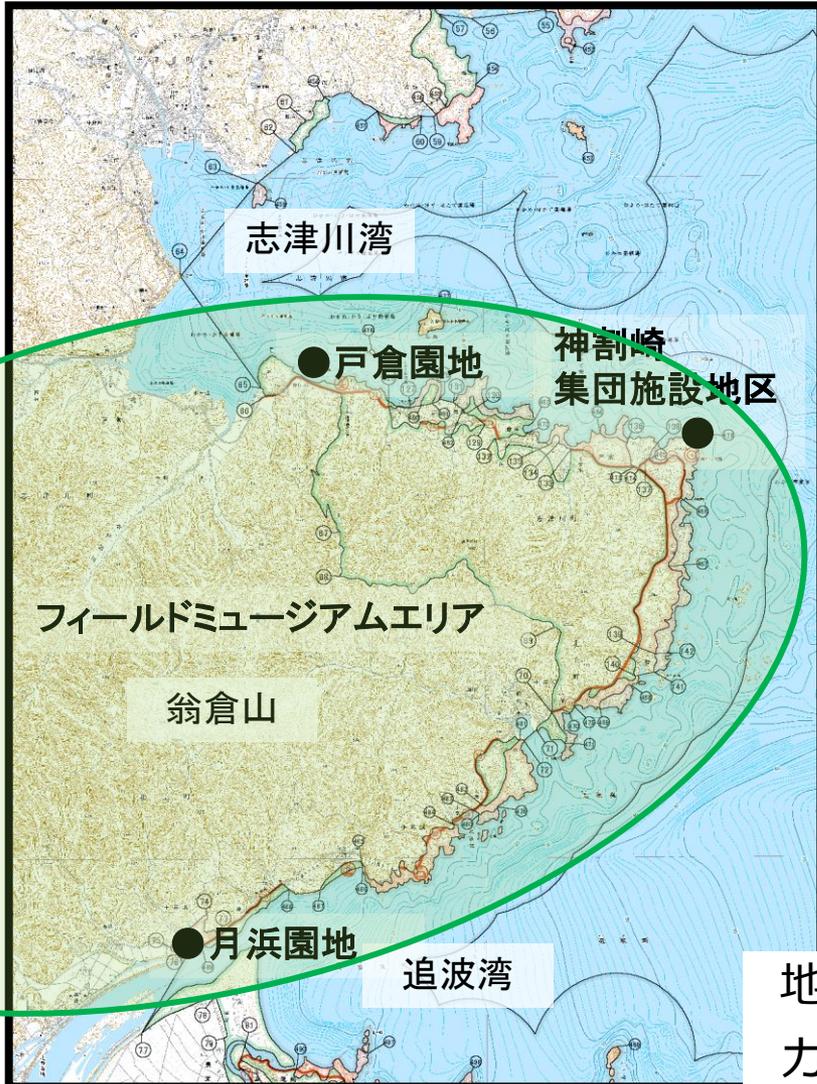
※今後も適宜調整



フィールドミュージアムエリアにおける自然体験活動の推進

里山・里海フィールドミュージアム
(グリーン復興プロジェクト)

翁倉山を中心とした、志津川湾、戸倉半島、北上川、柳津・津山地区及びその周辺地域（フィールドミュージアムエリア）において自然体験活動を推進し、自然環境保全および地域の活性化に寄与する。



地域住民を対象としたリーダー養成講座において、カヤック、スタンドアップパドルボード、クubb、スノーケル、野外調理、里山保全、クラフトレジジンなどを修得

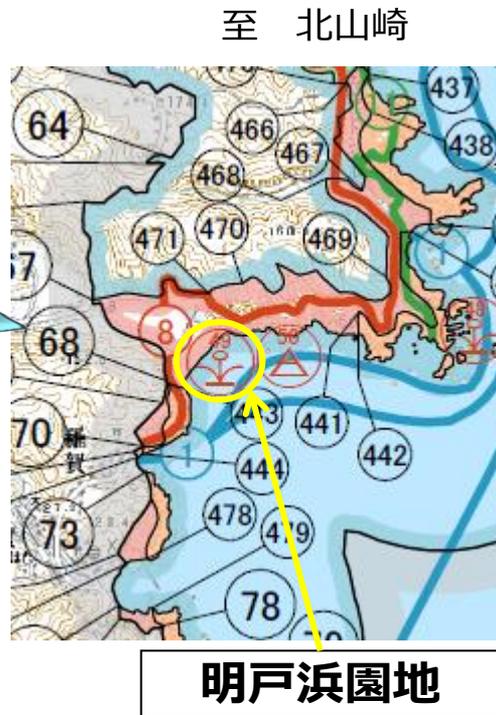
三陸復興国立公園 明戸浜園地

変更

区域面積：7.5→9.2ha

執行予定：環境省、田野畑村

第2種特別地域(岩手県、田野畑村、田野畑村漁協所有)



- 普代羅賀線道路(車道)及び「みちのく潮風トレイル」の計画路線が通過する。
- 津波により損壊した防潮堤を震災遺構として保存し、周辺を園地として整備し、震災の記憶を後世に伝える施設として活用する。
- 近傍にある北山崎園地は年間50万人程度が利用



被災した明戸浜防潮堤

変更内容：震災遺構公園整備のための区域拡張（+1.7ha）

- 従前の事業決定区域は、津波により損壊した防潮堤より海側であったが、今回、この防潮堤を震災遺構として保存し、防潮堤の周囲を園地として整備することとなったことから事業決定区域を拡張するもの。
- 震災遺構公園は、グリーン復興プロジェクトにおける「自然の脅威を伝える場」としての活用が期待される。



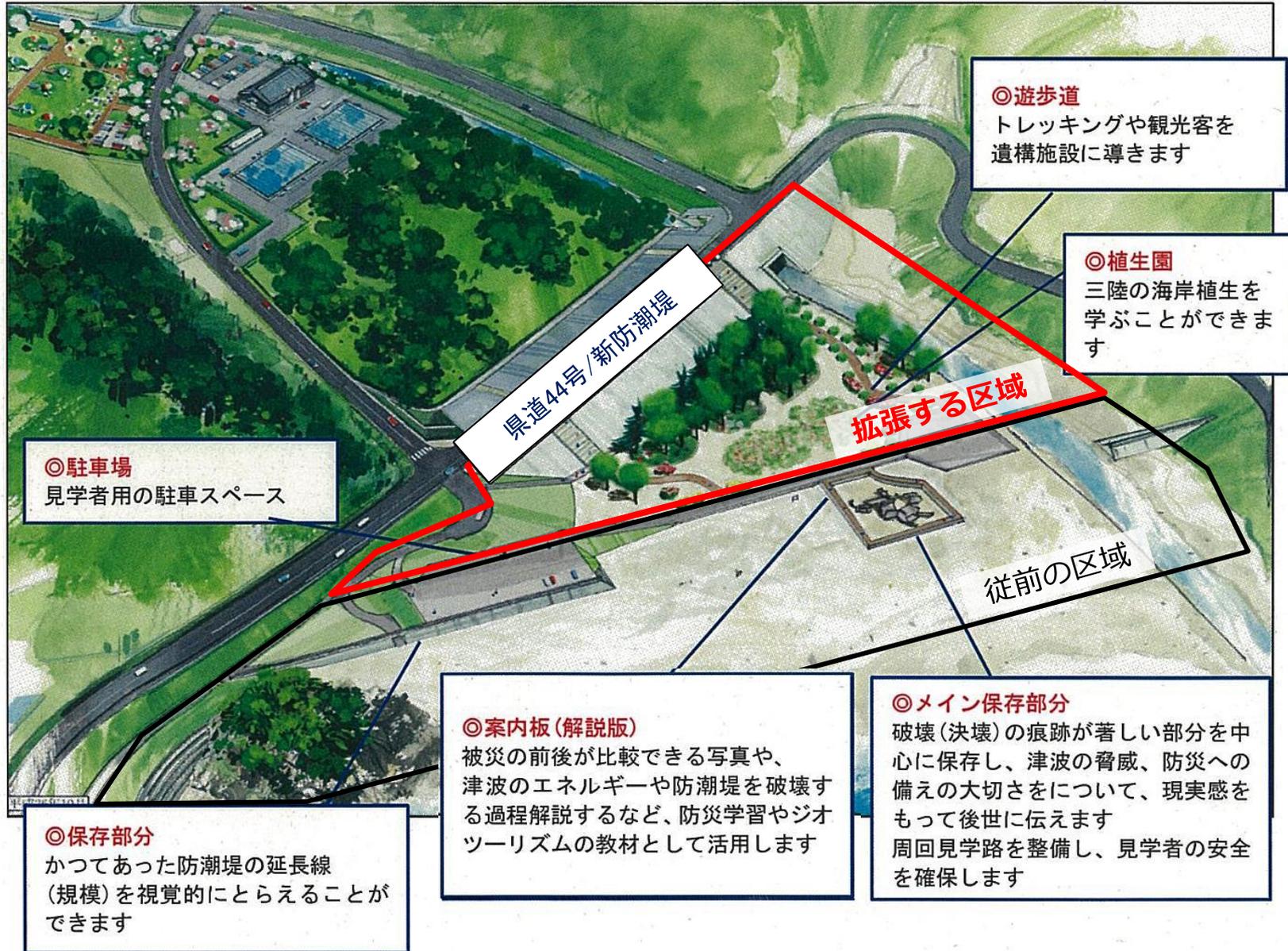
漁船エコツアーでは洋上から明戸浜を解説

震災遺構の保存・活用



- 自然の脅威を学ぶ
- 震災語り部、防災教育への活用
- サッパ船、海塩づくり等のエコツアーとの連携
- 砂浜には海浜植生は少ない
- 園地整備予定地に植生はない
- 園地は当該地周辺に自生する海浜植生の種子等により修景

全体のイメージ図



◎遊歩道
トレッキングや観光客を
遺構施設に導きます

◎植生園
三陸の海岸植生を
学ぶことができます

◎駐車場
見学者用の駐車スペース

◎案内板(解説版)
被災の前後が比較できる写真や、
津波のエネルギーや防潮堤を破壊する
過程解説するなど、防災学習やジオ
ツーリズムの教材として活用します

◎メイン保存部分
破壊(決壊)の痕跡が著しい部分を中
心に保存し、津波の脅威、防災への
備えの大切さについて、現実感をも
って後世に伝えます
周回見学路を整備し、見学者の安全
を確保します

◎保存部分
かつてあった防潮堤の延長線
(規模)を視覚的にとらえることが
できます

磐梯朝日国立公園

米沢猪苗代線道路（車道）

桧原湖南岸線道路（車道）

変更

路線距離：37.0km

有効幅員：5.5→6.5m

執行者：山形県・福島県

路線距離：9.0km

有効幅員：6.0→6.5m

執行者：福島県

第1種特別地域、第2種特別地域、第3種特別地域(県有地、国有林→借地)



- 猪苗代から裏磐梯を經由し、米沢又は喜多方へ向かう道路。
- 裏磐梯（標高800m）の桧原湖や五色沼、吾妻連峰の白布峠（標高1400m）など豊かな自然資源が点在している。

豊かな自然
夏涼しい気候

H26年度合宿受入
9,828名

- 陸上の高地トレーニング、夏合宿の適地として「合宿の郷」を地元自治体がアピール。
- 桧原湖周回道路を利用するサイクリストやランナーの増加。

車以外の車道利用者の増加

問題



- 車とサイクリストやランナーとのすれ違いや追い越し時の事故の危険増大。

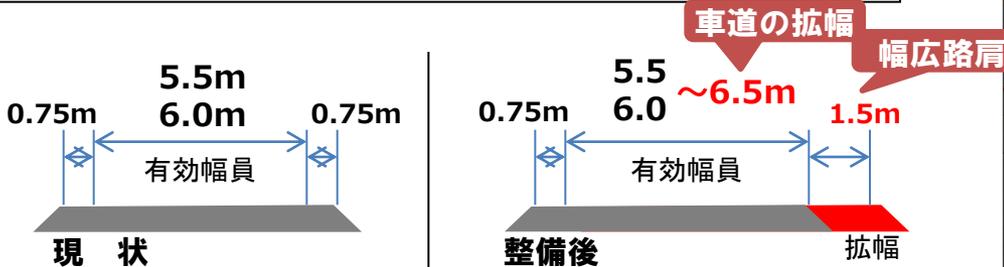
サイクリスト等と車との接触の危険性を回避し、安全を確保する必要がある。

改善

- 狭い道路状況に応じて必要な道路幅員を確保



対策：1) 車道の拡幅・2) 幅広路肩の整備



変更：有効幅員 5.5m → 6.5m (+0.5~1m)
6.0m

高地トレーニング用
路面整備（福島県）
・ 距離標の設置

米沢猪苗代線

道路への距離標の表示

桧原湖周回道路
整備（福島県）

・ 車道拡幅・幅広路肩
整備（H28～）
・ 距離標の表示

桧原湖

桧原湖南岸線

H28
H29

秩父多摩甲斐国立公園 徳和国師ヶ岳線道路（歩道）

決定

路線距離：11km

執行予定：山梨県

第1種特別地域、第3種特別地域（山梨県有地）

コメツガ、トウヒ等亜高山性針葉樹
（貴重な高山植物等はなし）



北奥仙丈岳山頂



北奥仙丈岳山頂からの眺望

- 北奥仙丈岳山頂からの南アルプス方面の展望
- 方位板の設置により利用者の安全を確保

北奥仙丈岳山頂での方位板の新設

既存施設の把握（登山道、標識）

路線距離：11km

執行予定：山梨県



終点



北奥仙丈岳山頂から起点側



北奥仙丈岳山頂から終点側

登山者の通行により自然発生した登山道
山梨県により簡易な標識を設置済み

富士箱根伊豆国立公園 本栖湖西岸園地

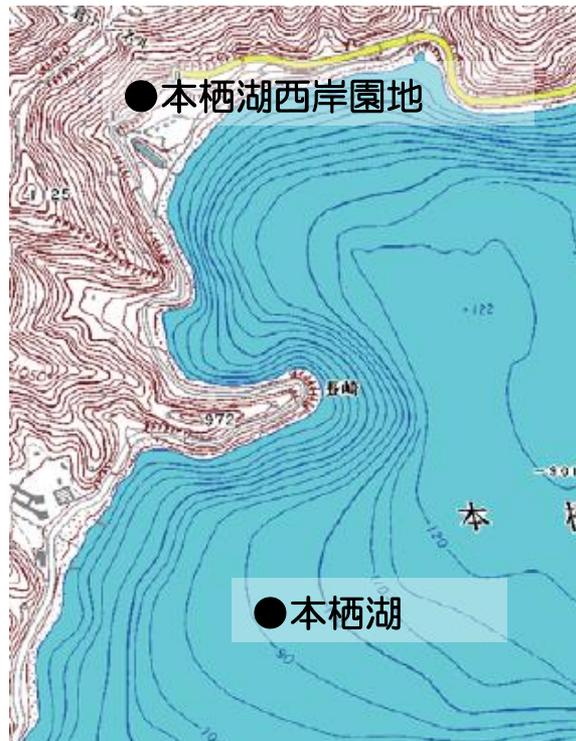
決定

区域面積：0.15ha

執行予定：環境省

第2種特別地域(山梨県有地、民有地)

ミズナラを中心とした広葉樹林帯
本栖湖に向かう斜面地



- 千円札に描かれた富士山の基になった写真の撮影地
- 富士山の世界文化遺産登録（H25年）を受けた園地利用者増への対応

登山道、展望施設、案内標識の補修及び新設

既存施設の把握（登山道、展望所）



展望所



登山道



登山道入口



本栖湖

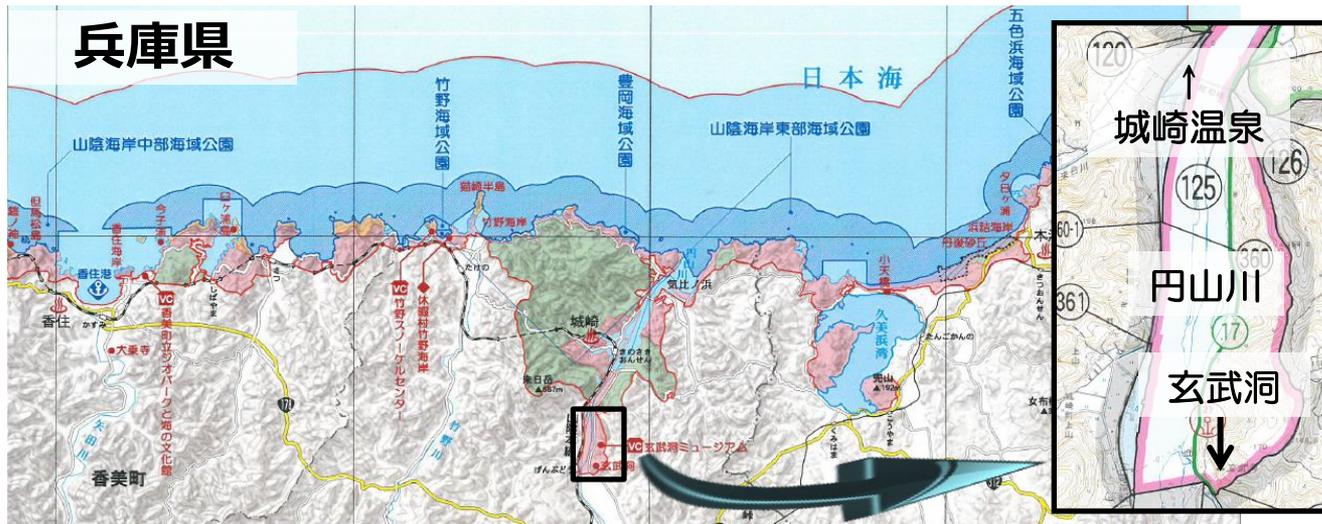
山陰海岸国立公園 玄武洞園地

変更

区域面積：2.0ha→2.5ha

執行者：豊岡市、民間

第2種特別地域（豊岡市有地、私有地）



玄武洞



青龍洞

- 円山川右岸の城崎温泉に至る県道沿いに位置する。
- 玄武岩の柱状節理が巨大岩壁を成している洞を複数見ることができ、優れた景勝地。本公園の主要な利用拠点。
- 城崎温泉利用者の利用が多く、平成28年度に北近畿豊岡自動車道が延伸されることから今後利用の増加が期待できる。
- 山陰海岸ジオパークの主要なジオサイトの1つ

利用者数
玄武洞園地
170千人（H25）